



※今月号の内容は、オンラインゲームについて知っていただくことを目的としています。徳之島町教育委員会としては、オンラインゲームの禁止も推奨も行うものではありません。

※使っている言葉 スマホ=スマートフォン ネット=インターネット

オンラインゲームって？

おとな（20代以上）の皆さんは、子どもの頃に遊んだゲームといえば、家庭用ゲーム機を思い浮かべる方が多いでしょう。かつては、友だちとゲームで遊ぶために、機器を持ち寄ったり、コントローラーをいくつも繋げたりしていました。

オンラインゲームが広がったのはここ20年ほど。背景にネット環境の充実や、スマホの普及があります。今や家庭用ゲーム機もネットに接続しており、また、スマホ等でも手軽にゲームを楽しむことができます。

お子さんがいる家庭でゲームとの関わり方を考えるには、まずは、オンラインゲームについて知ることからはじめましょう。

❑ **無料ではじめられる(ものもある)** かつて、ゲームで遊ぶには、まとまったお金を払い、家庭用ゲーム機やソフトを購入する必要がありました。今はスマホ等の身近な機器を使って、無料ではじめることができるゲームがあります。



❑ **誰かと一緒に(対戦や協力)** 友だちと顔を合わせなくても、ネットに接続することで一緒に遊ぶことができます。友だちだけでなく、同じゲームで遊んでいる世界中の人とつながったり、得点を競ったりできます。

❑ **課金とは** 大きく分けて、毎月一定の料金を支払って遊ぶゲーム、基本は無料で遊べるけど途中で（必要があれば）現金を使うゲームの2つがあります。企業（ゲームを作って運営する側）は、人件費等の経費がかかっており、収益を得なければなりません。

⇒ **基本無料ゲームで課金** ゲームを有利に楽しむことができます。具体的には、キャラクターが増えたり、アイテム（希少なものや強い武器・防具等）が手に入ったり、時間がかかる工程が短縮されたり、ステージが追加されたりします。

⇒ **支払方法** ①キャリア決済 ～スマホ（携帯電話）の利用料と併せて請求される。

②クレジットカード決済 ～クレジットカード情報を登録して支払う。

①②後払い
③前払い

③ **電子マネー** ～あらかじめお金を支払ってカード等を購入・チャージ（残高を増やす）する。仕組みとしては、商品券や図書カードをイメージしていただいたら良いでしょう。

まめちいき

電子マネーの一部は、記載された番号や記号を入力することで、支払いを行うことができます。これを悪用しようとする者が、番号等を聞き出そうとする詐欺の手口があります。番号等を伝えることイコール金額分の価値を相手に渡すこと。身に覚えがない請求に対して、相手に番号等を伝えてはいけません。

おとな（保護者）より子どものほうがスマホを使いこなしている家庭もあると思います。子どもに「ルールを守らせる」禁止・束縛では、子どもは保護者にわからないように、隠れて行動するかもしれません。

子どもがルールの必要性を理解し、自分で考えていけるよう伝えてあげてください。

オンラインゲームのトラブル

身近で手軽なオンラインゲームですが、トラブルも発生しています。ご自身や周りの方が巻き込まれないよう、トラブルについての知識を持ちましょう。

犯罪被害 ⇒ゲームで知り合った相手に子どもが誘拐された事件もある。

⇒面識がない相手とつながることはリスクあり！

ゲームの中には、遊びながらメッセージのやりとりや会話ができるものがあります。面識がなくても、一緒に遊んでいると相手を仲間だと感じることがあります。ですが「仲間」には、純粹にゲームを楽しんでいる人だけでなく、中には悪意をもって隙を狙っている者もあり、両者を見分けるのは難しいことです。



まめちいき

課金トラブル ⇒クレジットカードの管理をしっかり！

⇒ウソをつかない！

全国の消費生活相談センターに寄せられる相談の多くは、有料だと知らなかった、子どもが親に無断で課金をしたといったものです。遊んでいるゲームで何が有料かを確認し、もし課金をする場合は、電子マネーを利用するなど、使い過ぎを防ぎましょう。

今は使っていない“古い”スマホも、ネットに接続してゲームで遊ぶことができます。

“古い”スマホにクレジットカード情報を登録したままだと、カード決済ができてしまいます。カード情報は適切に管理し、子どもが使う機器からはカード情報を削除しておきましょう。

まめちいき

未成年者が行った契約は原則として取り消すことができます。しかし、ウソの生年月日を入力するなど年齢を偽っていた場合、契約の取り消しは認められないとされています。

子どもへの影響

子どもたちには、これからの時代を生き抜くバランスを身につけてほしいと願います。ゲームを通して、お子さんの視野が広がり関心が深まるのは素晴らしいことです。一方お子さんがゲームで将来の可能性を壊してしまうことになれば、ほんとうに残念です。

ゲームが人に（子どもに）与える影響については、さまざまなことが説かれています。思考力、注意力、創造力が高まるといった良い影響、健康への影響や依存といった悪い影響、両方が指摘されています。

視力低下について ⇒ゲームをする時は明るい部屋で 時間を決めて 休憩をとりながら

⇒ブルーカットの眼鏡を使うのもOK

子どもたちはネットを使った学習を行う時代。家でも長時間のゲームをしていると、視力低下が心配されます。対策を取り入れていきましょう。

ゲームソフトの年齢区分 ～CEROレーティングマーク～

国内で販売される家庭用ゲームに対して、内容を審査し、対象となる年齢を表示しています。表示された年齢区分を守ることが、トラブル防止にもなり安心です。

まめちいき